

# 池中だより

- 【教育目標】
- すすんで学び実践する人
  - 感謝する心を持ち責任を果たす人
  - 心身ともに健康な人

5月号

平成26年5月1日

豊島区立池袋中学校

## 自分の成長を実感できる学校

校長 堀 利光

1年で一番過ごしやすい時候となりました。この季節を象徴する言葉として「五月晴れ」の空に「風薫る五月」さわやかな風。「新緑が目まぶしい」季節となりました。

この充実した時期とはうらはらに、大人の社会では「五月病」という言葉もあります。四月は進学・就職・配置転換などで環境が大きく変わる季節です。その新しい環境に適応しようと一生懸命がんばりすぎて、大きなストレスを感じてしまい、心身に不調が出てくる状態のことです。

学校生活においても、入学や進級で張り詰めていた気持ちが途切れたりゆるんだりすることがあるかもしれません。そのような時こそリラックスを心がけ、自分の好きなことに気持ちを向けてみるのも良いのではないのでしょうか。

さて、入学式で「毎日の学校生活で、一日一つのことを学んだとしたら、卒業するまでの三年間で1000以上ものことを学んだこととなります。」と話しました。それから一ヶ月が過ぎようとしている今、どれだけのことを学ぶことが出来ましたか。

例えば、朝礼時や学年集会時の並び方、それぞれの授業の持ち物や授業の受け方、給食のやり方、部活動でのルール、友達との接し方。実にたくさんのことを学んだはず。この機会にもう一度自分自身で整理・確認してください。

もう一つ大切なことは目的意識を持って毎日を過ごすことです。「今日は学校がある日だから、とりあえず学校へ行った。」では済まされません。何のための学校、何のための授業なのでしょう。今日は保健体育の授業でこの競技に取り組めるからがんばろう、家庭科の授業で調理実習があるので楽しみだな、という具合に全ての行動には必ず目的があるはず。

五月の行事予定に目を移すと生徒総会や教育実習が始まります。また、夏季体育大会の開会式があり、本格的に各部活動の夏季大会の熱戦が繰り広げられます。小中連携活動の一環としてゴミゼロデーの活動もあります。

そして、31日は運動会です。各学年の団体種目や吹奏楽の一糸乱れぬ行進時の練習。男子の組み体操の力強いかけ声や女子ダンスの統一感のある動きが今年も校庭から伝わってくるのもすぐです。保護者や地域の皆さんに中学生のパワーを見せる絶好のチャンスです。学校全体で盛り上がっていきましょう。

「慣れるのは良いが決して<sup>な</sup>狎れるな」を合い言葉に、始業式や入学式で一人ひとりの胸に浮かんだ夢や希望、決意を忘れてしまった人はもう一度思い出し目的意識を常に持って学校生活を送る。生徒全員が日々自分の成長を実感できる学校でありたいものです。

